

研究機関名：国立大学法人鳥取大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和4年度）

1. 実施状況

| ①事業名 | ②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数（人） | ③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額（円） | ④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額（円） |
|-----------|----------------------------|---------------------------------|---|
| 創発的研究支援事業 | 2人 | 1,200,000円 | 1,200,000円 |
| | | | |
| 合計 | | | |

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

・研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額の100%相当を、当該研究室における実験及び環境整備のための費用として配分し、当該研究者の継続的な挑戦を支援することにより、新たなプロジェクトにつながる基盤整備や研究成果の更なる発展に寄与した。

研究成果として以下の論文を発表した。

・ S. Watari, H. Inaba, T. Tamura, A. M. R. Kabir, A. Kakugo, K. Sada, I. Hamachi, K. Matsuura, "Light-induced stabilization of microtubules by photo-crosslinking of Tau-derived peptide" Chem. Commun., 58, 9190-9193 (2022).

・ H. Inaba, Y. Sueki, M. Ichikawa, A. M. R. Kabir, T. Iwasaki, H. Shigematsu, A. Kakugo, K. Sada, T. Tsukazaki, K. Matsuura, Sci. Adv., 8, eabq3817 (2022).

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

<https://www.tottori-u.ac.jp/society/study/system-improvement/>